

2016-17年度 地区戦略計画

2016年3月20日改正

1. クラブへのサポートと強化

- 1) クラブの刷新性と柔軟性を育てる
 - ①CLPの推進および検証
 - ②地区研修委員会グループによる充実したプログラムの作成及び実施する
 - ③新世代（青少年）を惹きつける魅力あるクラブづくりへの支援
- 2) 五大奉仕の調和のとれた活動
 - ①地区研修・協議会、地区セミナー、地区大会等に会員が参加しやすい工夫をし、参加者の増加を図る
 - ②ロータリーの中核となる価値観と信頼に基づいた奉仕活動を奨励する
 - ③青少年プログラムの推進と支援を強化する
- 3) 多様性の増進
 - ①職業分類表を拡大し活用する
 - ②会員基盤の多様性を推進する(年齢・性別・国籍など)
 - ③多様性のあるクラブの推進を図る
- 4) 会員維持と増強
 - ①会員増強と維持に関するアイデアを共有し、支援する
 - ②若い会員、女性会員の入会を推進する
 - ③会員数20名以下のクラブに対する支援を強化する
 - ④魅力ある奉仕プロジェクトの実施により、地域社会にロータリーの価値を広く伝え、会員増強に繋げる
 - ⑤ロータリーのブランドイメージ向上により、会員増強を図る
- 5) リーダーの育成
 - ①クラブ研修リーダーの活動を支援する
 - ②地区リーダー研修としてのRLI研修を推進する
 - ③クラブにおけるRLI手法の導入を支援する
 - ④地区活動へのクラブ会員の積極的参加を促す
- 6) クラブの戦略計画の立案を奨励する
 - ①全クラブが戦略計画の立案ができるように支援する
 - ②クラブ戦略計画（長期計画）の実現に向けて支援する
- 7) オンラインツールの利用促進を図る
 - ①ホームページを通じて、双方向の情報発信を強化する
 - ②ロータリークラブ・セントラルの活用を推進する
 - ③My Rotary登録促進のための研修を支援する

2. 人道的奉仕活動の活発化

- 1) ポリオプラスへの協力
 - ①ポリオ撲滅を達成するための寄付に協力する
 - ②ポリオ撲滅を公共イメージの向上に繋げる
- 2) 青少年プログラムへの持続的な奉仕
 - ①インターアクトクラブの拡大を推進する
 - ②ローターアクトクラブの会員増強を支援する
 - ③RYLAや青少年支援プログラムへの会員とし世代の参加者を増やす
 - ④青少年交換プログラムを推進する

- ⑤新しい青少年奉仕プロジェクトを増加させる
- 3) ロータリー財団の6重点分野への持続的な奉仕
 - ①地区補助金、グローバル補助金を利用した6つの重点分野における持続可能なプロジェクトを増加する
- 4) 地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトの創造
 - ①地元や海外において、地域社会に有意義な成果をもたらす人道的奉仕プロジェクトを立案実施するクラブやロータリアンを推進支援する
- 5) 他の団体とのパートナーシップの強化（戦略パートナー、リソースパートナー、奉仕パートナー、プロジェクトパートナー）
 - ①ロータリーと価値観の共有できる他団体との共同奉仕を推進する
 - ②地域におけるロータリー以外の組織とのつながりを深める

3. 公共イメージと認知度の向上

- 1) イメージとブランド認識を調和させる
 - ①一般市民のロータリーに対する認知度向上を図る
 - ②ロータリー活動の積極的広報により、公共イメージと認知度の向上を図る
 - ③様々な広報ツールを利用して、ロータリーのブランドイメージを高める
- 2) 奉仕活動の広報する
 - ①メディアとの関係を強化し、ロータリーおよびその奉仕活動を広報する
 - ②ロータリーの奉仕理念や110年の成果と歴史を正しく広報し、ロータリーに対する認知度の向上を図る
- 3) 職業奉仕の理念を広める
 - ①ロータリーが「倫理と高潔性を強調している組織」であることを社会に広く認知されるように努力する
 - ②ロータリアンが職業奉仕理念を十分理解し、それを実践できるよう奉仕理念の提唱に努める
- 4) 中核となる価値観の推進
 - ①ロータリアンや一般市民に、ロータリーの中核的価値観が組織の考え方と方向性を定める原動力であることを強調する
 - ②ロータリーが、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの5つの中核的価値観を大切にする組織であることを地域社会に認知されるように努力する
- 5) クラブにおけるネットワークづくりの機会を図る
 - ①様々な職業のリーダーのネットワークであるロータリーの利点を生かし、多角的なアプローチで地域社会の問題に取り組む

4. 地区管理運営の効率化

- 1) ガバナー事務所及びエレクト事務所の一体運営による効率化
- 2) クラブへの経済的負担軽減
 - ①効率的な運営により、クラブの経済的負担軽減へ取り組む
- 3) クラブに対するサービス向上
 - ①クラブ目線でのサービスで地区運営に対する会員の満足度を高める
- 4) 地区組織におけるガバナー方針及び地区目標の共有化を図り、また地区委員会間の連携を強化する
- 5) 地区組織の毎年見直しと効率化の実現
 - ①重点項目、優先順位を考慮し、無駄のない効率的な組織とする